

バラのお手入れ年間スケジュール

〈松山市標準〉

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
剪定	●—● 冬剪定			●—● 花がら切り				●—● 夏剪定		●—● 花がら切り		●—● 冬剪定
肥料	●—● 寒肥			●—● 施肥(花後に概ね月1回程度)					●—● 施肥(花後に概ね月1回程度)			●—● 寒肥
つるバラ	●—● 誘引					●—● 長く出た枝(シュート)を垂直に留める						●—● 誘引
植え付け	●—● 根鉢を崩して植え付け				●—● 新苗植え付け							●—● 根鉢を崩して植え付け
その他					●—● 新苗の摘蕾(蕾を取る)・摘芯							

ユーキリン



同量混ぜてご使用ください。

粒状の高級リン酸肥料で、リン酸含有量が高く、しかも早く多く吸収され、バラの品質向上に効果があります。骨粉を原料としています。「ミラクル」と同量を混ぜてご使用下さい。

ミラクル



粒状アミノ酸肥料。サトウキビを原料としています。アミノ酸窒素とアンモニウム窒素がバランスよく含まれていますので肥効が安定しております。「ユーキリン」と同量を混ぜてご使用下さい。

バラの専用鉢



バラ栽培に適したスリットが底面に施され、水はけの良い構造となっています。さまざまなタイプのバラ専用鉢が開発されています。

ベニカXネクストスプレー



世界初!5種類の成分で植物の病害虫をしっかり防除! 殺虫、病気の予防・治療。【容量】1000ml【使用方法】散布

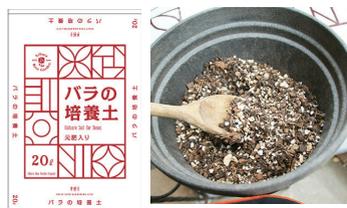


相原バラ園
こだわりの
自家生産苗

当園で生産するバラ苗は、健康的な圃場で台木や芽接ぎの段階から全て自家生産しています。根頭癌腫病予防に細心の注意を払って栽培していますので、安心して育てていただけます。

また、成長が早く強健で病害虫にも強い株を作ることが出来ます。

【オリジナル】バラの培養土 (元肥入り) 20ℓ



当園で使用しているバラ用にブレンドした培養土。良い土を使うことが良い株にする近道です。軽量化をはかりました。1袋で10号鉢×約1.5鉢分

【オリジナル】完熟のたい肥 20ℓ



当園で使用しているたい肥です。2度熟成させていますので根を傷めません。株元のマルチングや、冬の寒肥、土壌改良などこれ一つでOK。

【オリジナル】植物の培養土 (元肥入り) 20ℓ



当園で使用している植物の植え替え用にブレンドした培養土。草花から観葉まで。良い材料しか使っていないので安心してお使いいただけます。

特選有機濃いバラの肥料



二ーム配合の画期的なバラの肥料。使いやすい形状で初心者の方や鉢植えにお勧めです。

新苗(4月下旬~6月下旬のみ販売)

芽接ぎの部分は取れやすいので注意して、なるべく早く8号鉢以上の鉢に植え替えます。8月下旬までは摘蕾・摘芯で株を育てることが良い花への近道です。

大苗(通年販売)

春~秋の成長期は根鉢を崩さず地植えか、ひと回り大きな鉢に植え替えます。冬の休眠期は根を広げて植え替えましょう。

裸苗(冬期のみ販売)

乾燥防止のため湿ったピートモスの入ったビニール袋で根を包んだ状態でお渡しします。大きめの鉢か地植えにしてください。すぐに植替えが出来ない場合、1週間ほどは水を足して根を乾かさないようにすると、そのままの状態での管理が出来ます。それ以上になる場合は、鉢などに仮植えをし、水をたっぷり与えてください。